

実践ガイド

中小企業のための Claude Code活用 チェックリスト

全20項目でわかる、Claude Codeの任せどころ
Codexとの使い分け・2026年7月版（全7ページ）

作成

ステップアウトマーケティング合同会社

代表 今宿 裕昭（元博報堂 29年）

<https://www.step-out.jp>

Codexの、次の一手。

Claude CodeはAnthropicのエージェント型AI。PCのファイルを直接読み書きし、設計・レビュー・複数ファイルにまたがる変更を任せられます。Codex（OpenAI）と同じ「任せる」カテゴリですが、得意は少し違う。2つを"二枚持ち"にすると、任せられる幅が一気に広がります。

観点	Codex（OpenAI）	Claude Code（Anthropic）
得意	反復実装・小さな修正・テスト/ドキュメントの量産	設計・レビュー・複数ファイルの大きな変更
たとえるなら	呼べば来る「専門家」	プロジェクトに住む「チームメイト」
入り口	ChatGPTプランに付随	単独サブスク（Pro \$20／Max \$100〜）
強み	スマホ起動・スケジュール・量産UX	スキル・サブエージェント・MCPで自在に拡張

二枚持ちの原則

どちらが上、ではありません。「段取り・品質・仕組み化」はClaude Code、「とにかく速く量産」はCodex。迷ったら両方に同じ指示を投げて、良い方を選ぶ——これが二枚持ちの最大の効用です（私たち自身、案件に応じて2つを併用しています）。

情報の守り方（ローカルで動く道具として）

- › **手元のPCで処理**：ファイルはローカルで扱う。クラウドに丸ごと預けないぶん、管理は自分の環境しだい
- › **権限の範囲を理解**：ファイル書き換え・コマンド実行を許可する道具。まずは影響の小さいフォルダから
- › **認証情報は読ませない**：.envやAPIキー・パスワードはAIに触れさせない場所・設定で管理する

1 まず"二枚目"として試す

難しく考えず、身近な作業から。PCのファイルを直接触れるのが、Webチャット型のAIとの違いです。

✓	チェック項目	指示の例
☐	既存サイト・LPの文言修正 公開中のページを直接直してもらう	指示： このページの見出しと問い合わせ文言を、製造業の経営者向けに書き直して。
☐	資料・データの一括処理 フォルダ内のファイルをまとめて整形	指示： このフォルダのCSVを1つに統合し、月別・商品別に集計して表にして。
☐	調べもの+下書きを一気に Web調査から成果物の出力まで	指示： 競合3社をWebで調べ、価格・強み・弱みの比較表をMarkdownで出して。
☐	着手前に段取りを確認 Plan いきなり作らせず、方針を先に見る	指示： まず何を、どう変えるか。着手する前に手順を箇条書きで見せて。
☐	よく使う指示を覚えさせる 自社情報・口調をメモリに記録	指示： 会社概要と文章のトーンのルールを CLAUDE.md に記録して、毎回反映して。

💡 始め方のコツ

最初は「消えても困らないフォルダ」で試すのが安心。小さな修正を1つ任せて、"手元のファイルが動く"感覚をつかめば、任せられる範囲は自然に広がります。

2 設計・レビュー（Claude Codeの得意）

「速く作る」より「正しく作る・整える」。ここがCodexとの一番の違いです。

✓	チェック項目	指示の例
☐	大きな変更は方針合意から Plan 影響範囲を確認してから着手	指示： この大改修の前に、影響が出る範囲と手順を箇条書きで示して。
☐	成果物の品質チェック バグ・改善点を第三者目線で指摘	指示： この変更内容をレビューして、不具合と改善点を重要な順に挙げて。
☐	複数ファイルにまたがる変更 関連箇所をまとめて反映	指示： この仕様変更を、関連する全ファイルに漏れなくまとめて反映して。
☐	既存の仕組みの棚卸し 中身を理解して説明させる	指示： このプロジェクトの構成と、どこで何をしているかを図と文章で説明して。
☐	Codexの成果物をレビュー 二枚持ち 別のAIの目で点検させる	指示： Codexが書いたこのコードを、別の視点でレビューして問題点を挙げて。

💡 使い分けのポイント

「まず速く形にする」はCodex、「その形を点検し、大きく整える」はClaude Code——と役割を分けると、片方だけより仕上がりが安定します。相互にレビューさせるのが二枚持ちの型です。

3 業務の自動化・仕組み化

一度きりの作業を「型」にして、繰り返し使える資産に変えます。

✓	チェック項目	指示の例
☐	定型作業をスキル化 手順を覚えさせて再利用する	指示： 毎週のレポート作成の手順を、呼び出すだけで実行できるスキルにして。
☐	サブエージェントで並行処理 調査や作業を分担して同時進行	指示： この調査を3つのエージェントに分けて、同時に進めてから統合して。
☐	外部ツールと連携（MCP） Notion・Slack・Canva等とつなぐ	指示： Notionの議事録を読んで、決定事項をSlackに投げるところまで一気通貫で。
☐	定期実行で自動化 繰り返す作業を無人で回す	指示： 毎朝この集計を実行して、結果をメールで送る仕組みを作って。
☐	検証まで含めて任せる 「作って終わり」にしない	指示： 作ったら実際に動かして、期待どおりの結果になるか確認するまでやって。

💡 仕組み化のコツ

うまくいった作業は、その場で「スキル」にして残すのが得。次からは一言で同じ品質の仕事が返ってきます。属人的なノウハウを、会社の資産に変えていく感覚です。

4 Codexとの使い分け・二枚持ち

2つを併用してこそ本領。用途で振り分け、互いにレビューさせます。

✓	チェック項目	考え方・指示の例
☐	用途で振り分ける 仕事の性質でツールを選ぶ	目安： 設計・レビュー・大改修＝Claude Code／反復実装・小修正の量産＝ Codex。
☐	相互にレビューさせる 片方の出力をもう片方が点検	指示： もう一方のAIが作った成果物を、 別視点で点検して弱点を挙げて。
☐	料金プランを使い方に合わせる 並列で使うほど上位プラン	目安： まずは Pro（\$20）から。並行で重 く回すなら Max（\$100～）を検討。
☐	機密はローカルの範囲で 扱ってよい情報の線引き	ルール： .envや認証情報はAIに読ませな い。社外秘は扱う範囲を決めてから。
☐	迷ったら両方に投げて比べる 二枚持ち 同じ指示で"効きめ"を見比べる	指示： 同じ依頼を2つのAIに出し、出力を 並べて良い方を選ぶ。

💡 二枚持ちの本質

大事なのは「どちらが優秀か」ではなく「どちらに何を頼むか」。道具の性格を知って振り分けられる人が、いちばん速く、いちばん良い仕事をします。結論を出すのは、いつも人の側です。

"任せどころ"を確認しましょう

チェックがついた項目の数で、Claude Codeの使いこなし度がわかります。

あなたの"任せどころ"スコア：_____ / 20

0～5

これから

まずは1つ、身近な作業を任せてみる

6～10

二枚目を持ち始めた

Codexとの違いが見えてきた段階

11～15

使い分けができている

仕組み化・自動化のフェーズへ

16～20

二枚持ちを使いこなす

AIを競争優位に変えられる

💡 **まだ0でも大丈夫**

Claude CodeもCodexも、始めるのに専門知識は要りません。大切なのは「小さく1つ任せてみる」と。手元のファイルが動く体験が、次の一步を連れてきます。

エージェント型AIの二枚持ち、 「社内で回せる形にしたい」と思ったら

ステップアウトマーケティングでは、中小企業に特化した生成AI活用の伴走支援を行っています。

「どちらを、どう使い分ければいいのか」「社内に定着させたい」
そんなお悩みを、30分の無料壁打ちセッションで一緒に整理しませんか？

🌐 **無料相談を予約する → step-out.jp/contact**

💬 **LINEで気軽に質問 → lin.ee/kLHiDIR**

本資料に関するお問い合わせ: info@step-out.jp

ステップアウトマーケティング合同会社 | 滋賀県東近江市